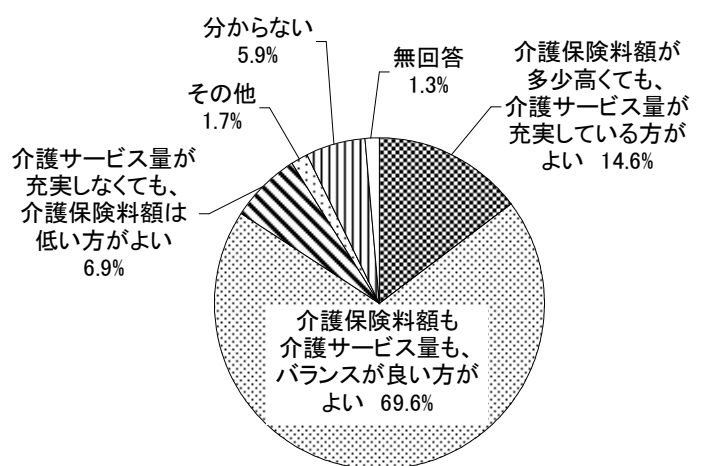


4 福祉・人権

(1) 介護保険料の金額設定 (A：問5)

問. 介護保険制度の介護保険料の額は、利用した介護サービスの量によって決まる仕組みとなっています。介護保険料額と介護サービス量のバランスについて、どう考えますか。
(対象年齢でない方は、対象者になることを想定して回答してください。)(1つだけ)

図4-1-1 介護保険料の金額設定



[n=815]

【全体】

介護保険料の金額設定について聞いたところ、「介護保険料額も介護サービス量も、バランスが良い方がよい」(69.6%)が7割で最も高くなっている。その他、「介護保険料額が多少高くても、介護サービス量が充実している方がよい」(14.6%)、「介護サービス量が充実しなくても、介護保険料額は低い方がよい」(6.9%)となっている。

【経年変化】

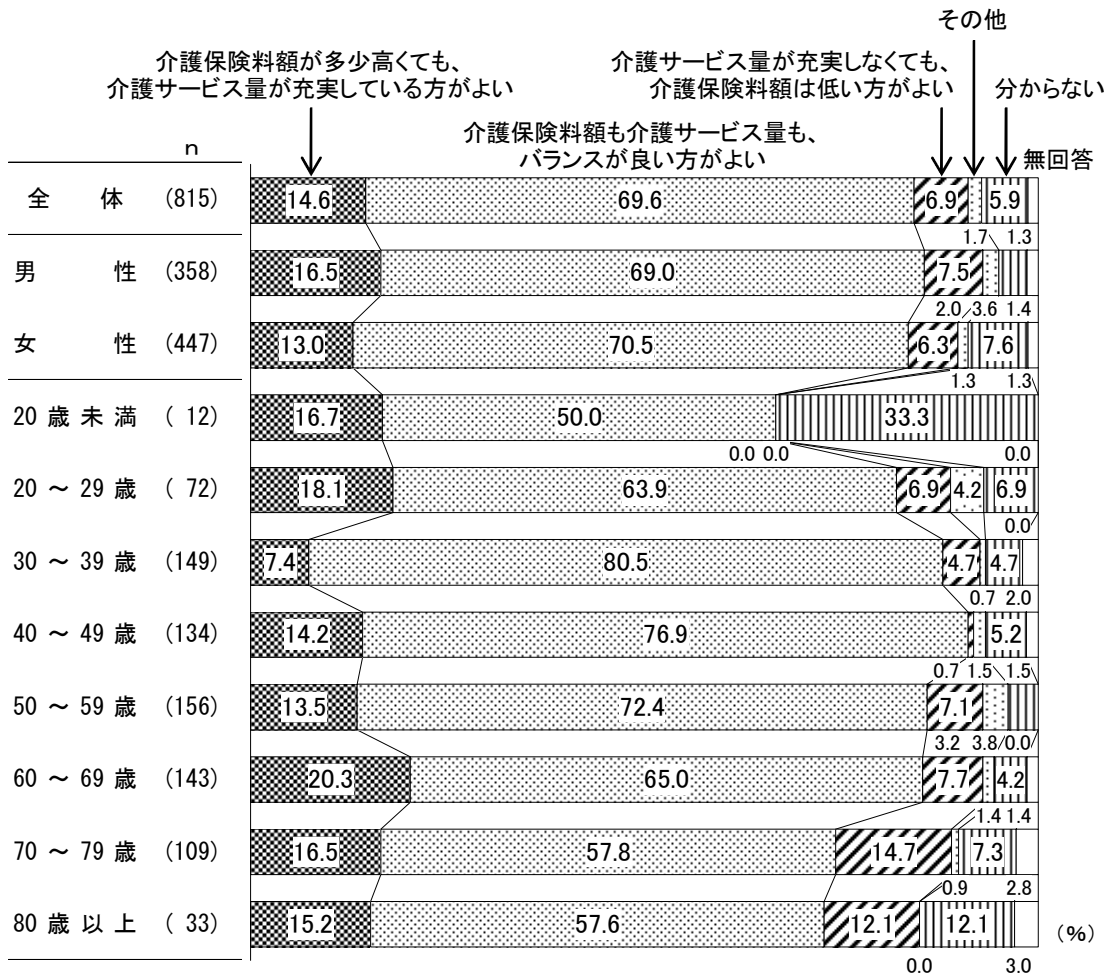
新規設問ではないが、選択肢の内容を変更しているため、経年変化は記載しないものとする。

【属性別】

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、30歳代で「介護保険料額も介護サービス量も、バランスが良い方がよい」(80.5%) がほぼ8割で他の年代より高くなっている。

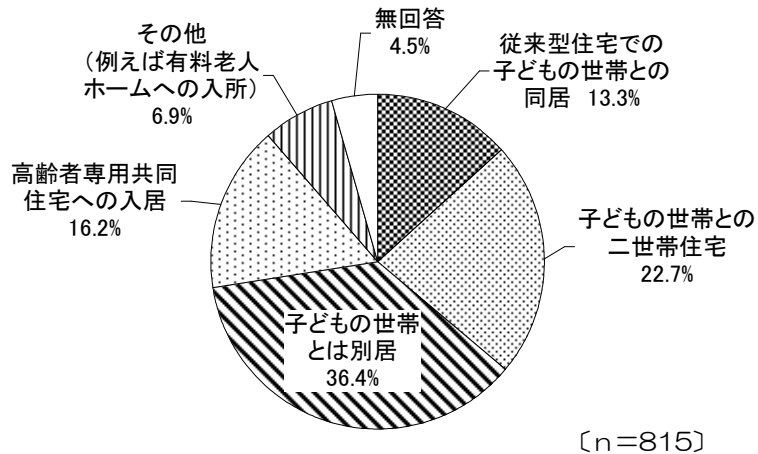
図4-1-2 介護保険料の金額設定—性別、年齢別



(2) 高齢時の居住形態 (A: 問6)

問. あなた自身が高齢になった場合、望む居住形態はどちらですか。
 (現在 65 歳以上の方はどのような居住形態を望んでいますか。)(1つだけ)

図4-2-1 高齢時の居住形態



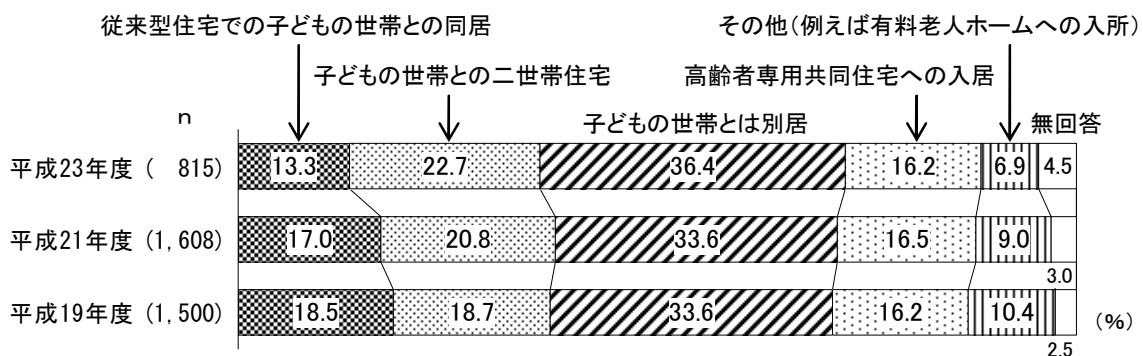
【全体】

高齢者の居住形態について聞いたところ、「子どもの世帯とは別居」(36.4%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「子どもの世帯との二世帯住宅」(22.7%)、「高齢者専用共同住宅への入居」(16.2%)、「従来型住宅での子どもの世帯との同居」(13.3%)となっている。

【経年変化】

前回調査、前々回調査との比較をみると、「従来型住宅での子どもの世帯との同居」が減少傾向、「子どもの世帯との二世帯住宅」が増加傾向となっている。

図4-2-2 高齢時の居住形態—経年変化

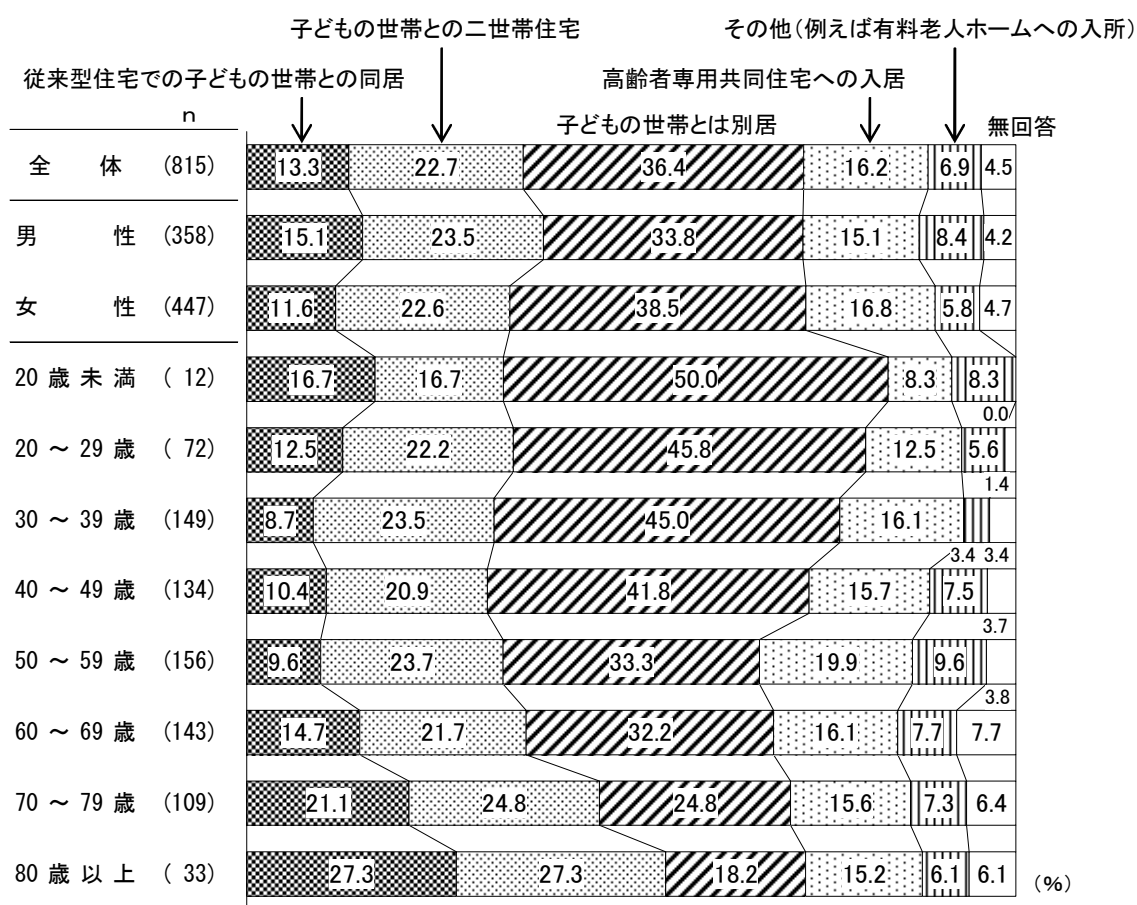


【属性別】

性別にみると、女性で「子どもの世帯とは別居」(38.5%)が男性より4.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、80歳以上で「従来型住宅での子どもの世帯との同居」(27.3%)が3割近くで他の年代より高くなっている。また、20歳代と30歳代で「子どもの世帯とは別居」(45.8%・45.0%)が4割半ばで他の年代より高く、年代が低くなるにつれて占める割合が高くなる傾向にある。

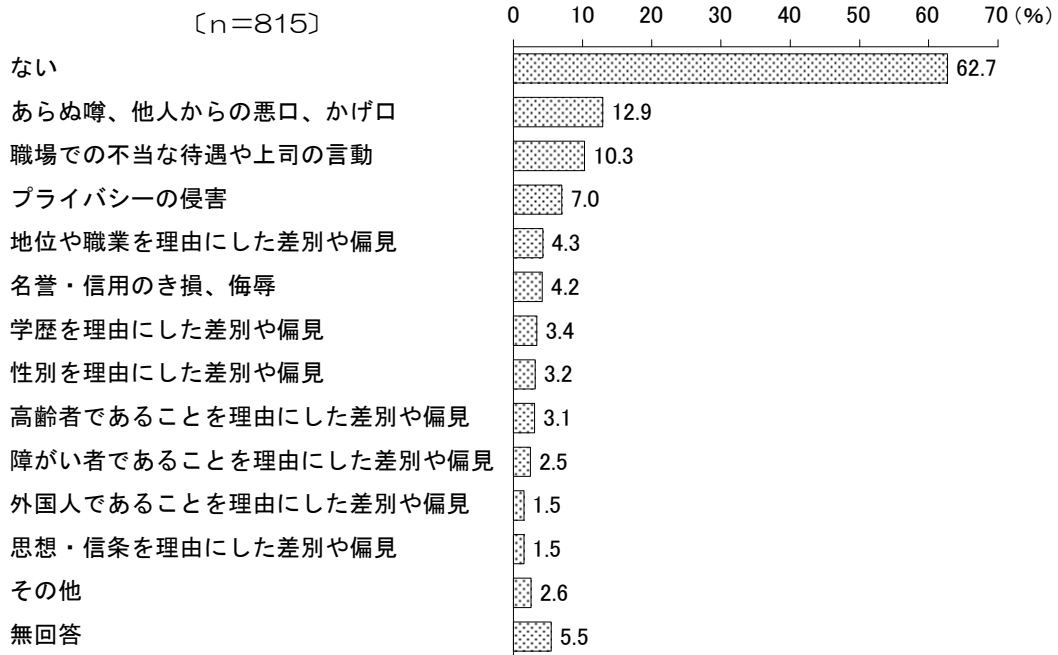
図4-2-3 高齢時の居住形態—性別、年齢別



(3) 人権侵害を受けた経験 (A：問 13)

問. 自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか。ある場合、それはどのような人権侵害ですか。(ある場合はいくつでも)

図4-3-1 人権侵害を受けた経験



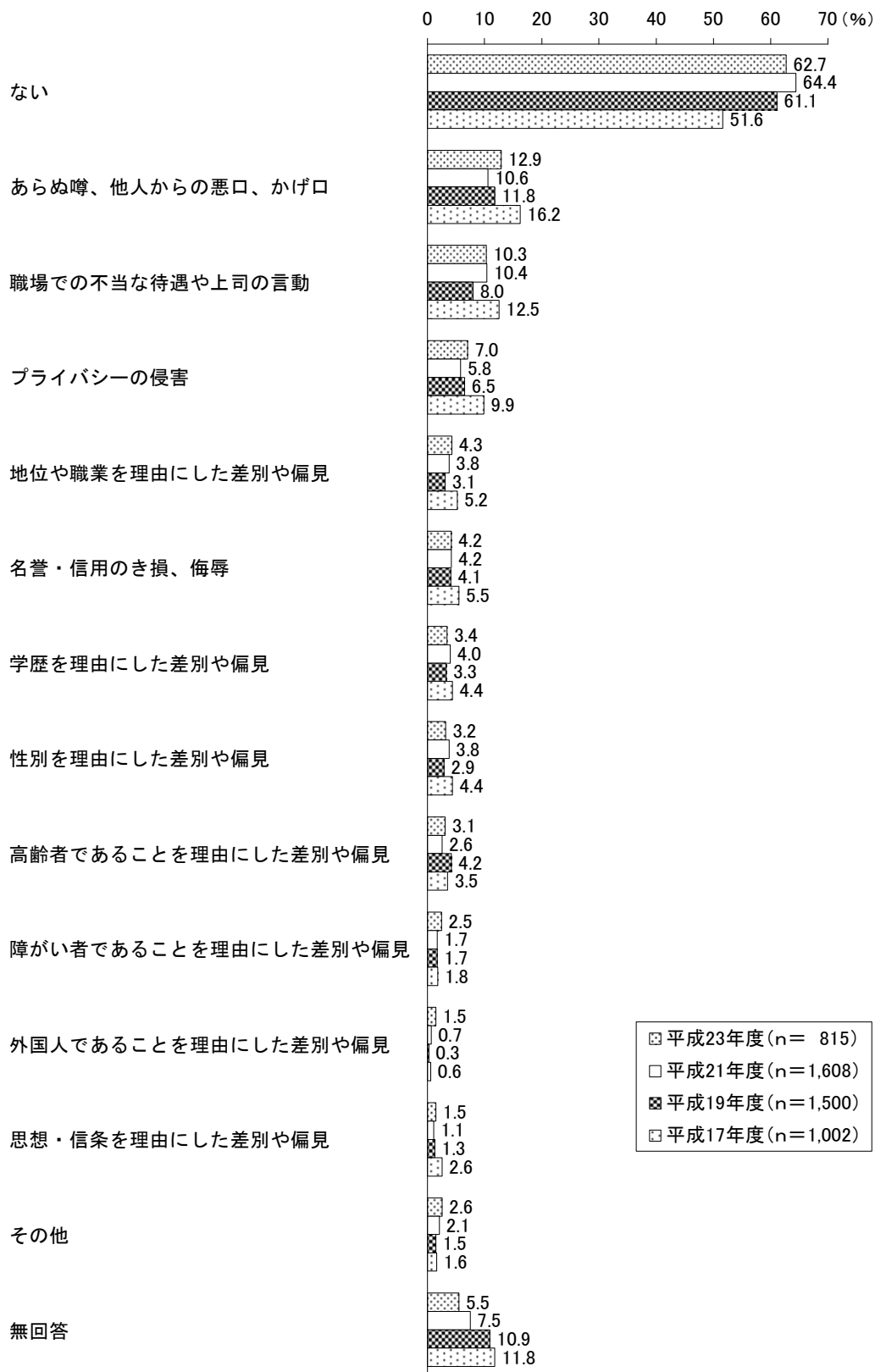
【全体】

人権侵害を受けた経験について聞いたところ、「ない」(62.7%)が6割を超えている。ある場合については、「あらぬ噂、他人からの悪口、かけ口」(12.9%)が最も高くなっている。次いで、「職場での不当な待遇や上司の言動」(10.3%)、「プライバシーの侵害」(7.0%)となっている。

【経年変化】

経年による大きな差異はみられない。

図4-3-2 人権侵害を受けた経験—経年変化（複数回答）



【属性別】

性別にみると、男性で「ない」(71.2%) が7割を超え、女性より 15.5 ポイント高くなっている。一方、女性で「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(17.4%) が男性より 10.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、ある場合については、30 歳代で「職場での不当な待遇や上司の言動」(19.5%) が2割で他の年代より高くなっている。

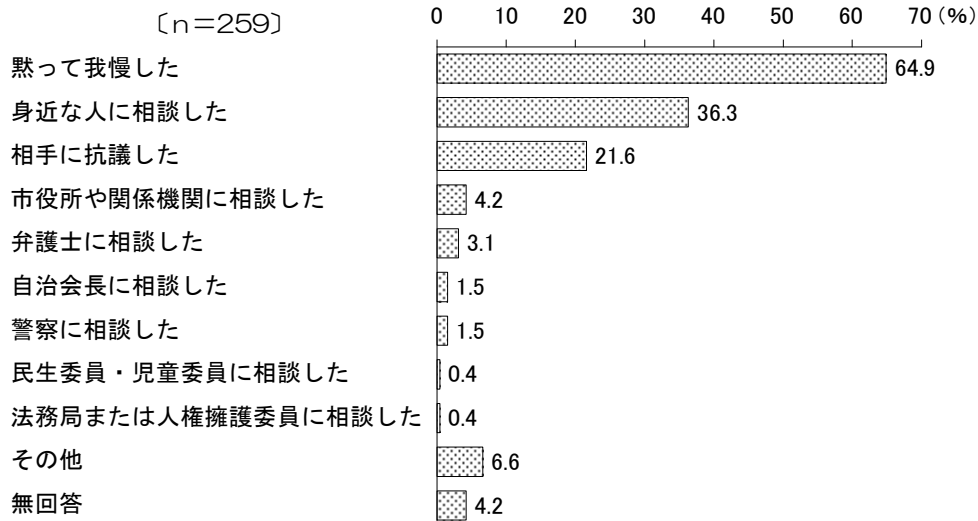
表4-3-1 人権侵害を受けた経験—性別、年齢別 (複数回答)

		(%)																
		n	ない	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	職場での不当な待遇や上司の言動	プライバシーの侵害	地位や職業を理由にした差別や偏見	名誉・信用のき損、侮辱	学歴を理由にした差別や偏見	性別を理由にした差別や偏見	高齢者であることや偏見	理由にした差別や偏見	障がい者であることや偏見	外国人であることや偏見	理由にした差別や偏見	思想・信条を理由にした差別や偏見	その他	無回答
全 体		815	62.7	12.9	10.3	7.0	4.3	4.2	3.4	3.2	3.1	2.5	1.5	1.5	1.5	2.6	5.5	
性別	男 性	358	71.2	7.3	8.4	3.4	4.7	2.2	3.1	0.3	2.0	1.7	0.8	1.1	2.2	5.0		
	女 性	447	55.7	17.4	12.1	9.8	4.0	5.6	3.8	5.6	4.0	2.9	2.0	1.8	2.9	6.0		
年齢別	20 歳 未 満	12	58.3	25.0	-	-	8.3	16.7	-	-	-	-	-	8.3	-	8.3		
	20 ～ 29 歳	72	56.9	20.8	11.1	8.3	5.6	2.8	2.8	5.6	-	4.2	1.4	1.4	1.4	1.4		
	30 ～ 39 歳	149	57.7	12.1	19.5	10.7	4.7	6.0	6.7	5.4	0.7	4.7	1.3	2.0	2.7	3.4		
	40 ～ 49 歳	134	64.9	14.2	14.2	8.2	4.5	6.0	1.5	4.5	-	3.0	3.0	1.5	3.7	0.7		
	50 ～ 59 歳	156	62.2	12.8	9.6	7.1	4.5	4.5	4.5	1.9	3.8	-	-	1.9	3.8	3.8		
	60 ～ 69 歳	143	65.7	11.2	7.7	4.9	4.2	3.5	0.7	2.1	4.9	2.8	2.1	-	1.4	7.7		
	70 ～ 79 歳	109	67.9	9.2	1.8	2.8	1.8	0.9	5.5	1.8	7.3	0.9	0.9	0.9	1.8	11.9		
80 歳 以上	33	57.6	9.1	-	6.1	3.0	-	-	-	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	21.2			

(4) 人権侵害を受けた時の対応 (A: 問 14)

問. 「ある」とお答えの方にお聞きします。人権侵害を受けた時、どのように対応されましたか。(ある場合はいくつでも)

図4-4-1 人権侵害を受けた時の対応



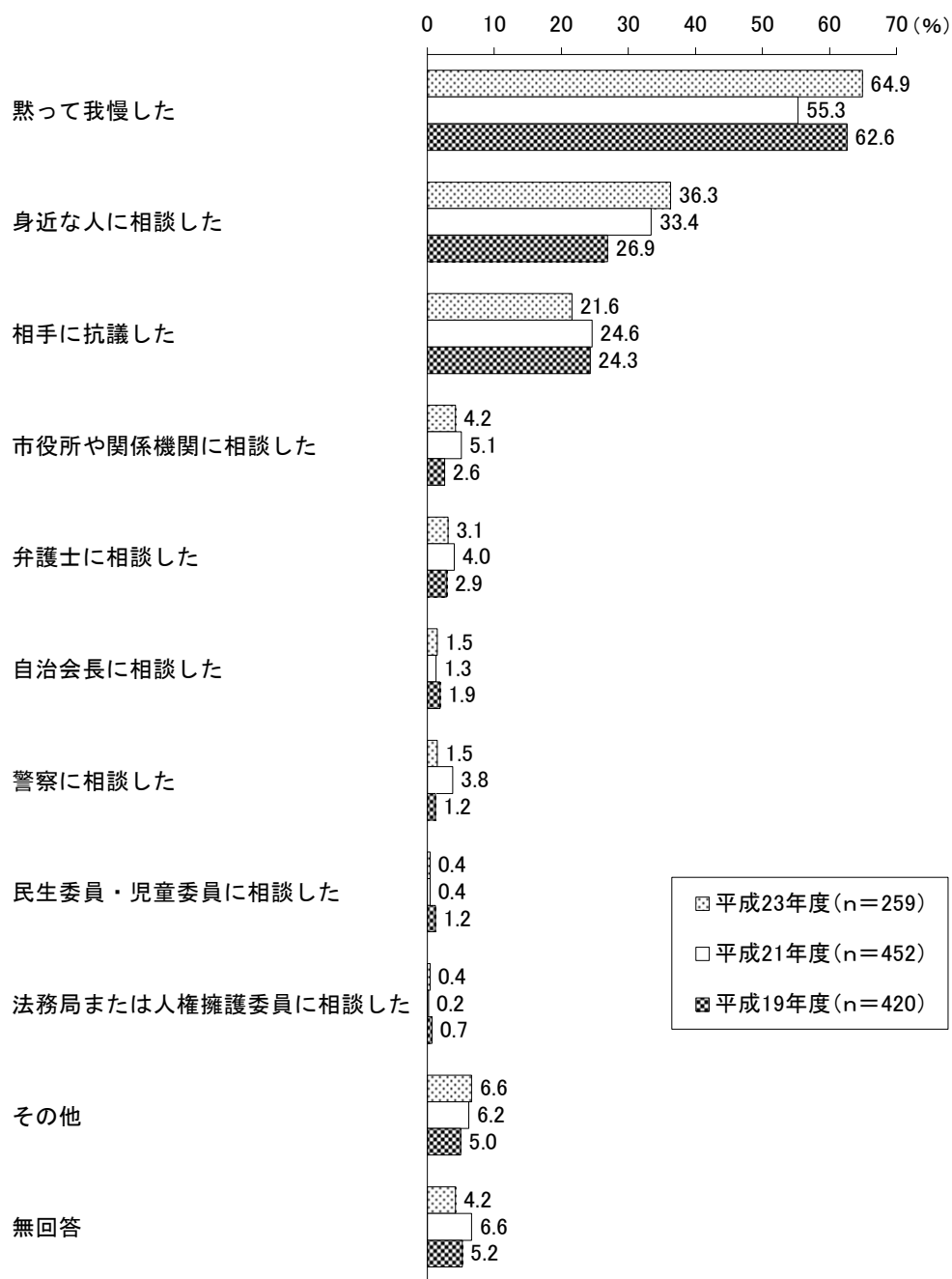
【全体】

自分の人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた人(259人)に、人権侵害を受けた時の対応について聞いたところ、「黙って我慢した」(64.9%)が6割半ばで最も高くなっている。次いで、「身近な人に相談した」(36.3%)、「相手に抗議した」(21.6%)となっている。

【経年変化】

前回調査、前々回調査との比較をみると、「黙って我慢した」が前回調査より9.6ポイント高くなっている。また、「身近な人に相談した」が増加傾向となっている。

図4-4-2 人権侵害を受けた時の対応—経年変化（複数回答）



【属性別】

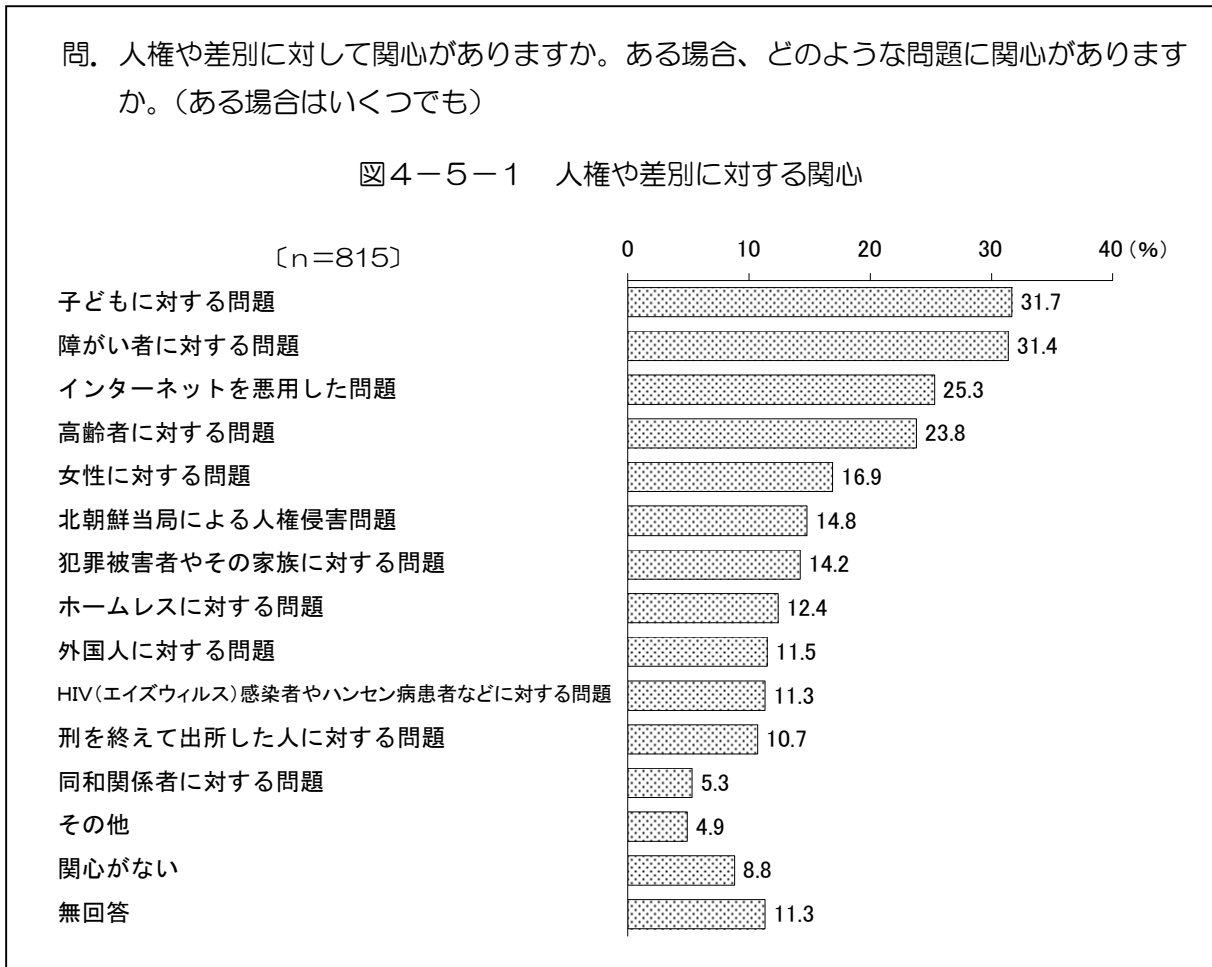
性別にみると、女性で「身近な人に相談した」（43.3%）が男性より 22.1 ポイント高くなっている。一方、男性で「黙って我慢した」（72.9%）が女性より 11.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「黙って我慢した」はおおむね年代が低くなるにつれて占める割合が高くなる傾向にある。また、30 歳代で「身近な人に相談した」（50.0%）が5割で他の年代より高くなっている。

表4-4-1 人権侵害を受けた時の対応—性別、年齢別（複数回答）

			(%)										
		n	黙って我慢した	身近な人に相談した	相手に抗議した	相談した市役所や関係機関に	弁護士に相談した	自治会長に相談した	警察に相談した	民生委員・児童委員に相談した	法務局または人権擁護委員に相談した	その他	無回答
全 体		259	64.9	36.3	21.6	4.2	3.1	1.5	1.5	0.4	0.4	6.6	4.2
性別	男 性	85	72.9	21.2	20.0	3.5	4.7	1.2	1.2	-	1.2	10.6	1.2
	女 性	171	61.4	43.3	22.8	4.7	1.8	1.8	1.8	0.6	-	4.7	5.8
年齢別	20 歳 未 満	4	75.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20 ～ 29 歳	30	80.0	40.0	16.7	3.3	-	-	-	-	-	10.0	-
	30 ～ 39 歳	58	62.1	50.0	27.6	6.9	1.7	-	1.7	-	-	3.4	-
	40 ～ 49 歳	46	67.4	37.0	21.7	2.2	2.2	4.3	-	-	-	6.5	-
	50 ～ 59 歳	53	67.9	39.6	20.8	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	-	3.8	5.7
	60 ～ 69 歳	38	55.3	21.1	15.8	2.6	5.3	2.6	2.6	-	2.6	10.5	13.2
	70 ～ 79 歳	22	54.5	13.6	27.3	9.1	4.5	-	4.5	-	-	13.6	13.6
80 歳 以 上	7	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	

(5) 人権や差別に対する関心 (A: 問 15)



【全体】

人権や差別に対して関心がある場合、どのような問題に関心があるか聞いたところ、「関心がない」(8.8%)は1割未満にとどまっており、関心がある問題としては「子どもに対する問題」(31.7%)、「障がい者に対する問題」(31.4%)、「インターネットを悪用した問題」(25.3%)、「高齢者に対する問題」(23.8%)が上位となっている。

【経年変化】

前回調査、前々回調査との比較をみると、「高齢者に対する問題」が前回調査より6.2ポイント低くなっている。

表4-5-1 人権や差別に対する関心—経年変化(複数回答)

順位	平成23年調査 (n=815)		平成21年調査 (n=1,608)		平成19年調査 (n=1,500)	
1	子どもに対する問題	31.7	高齢者に対する問題	30.0	高齢者に対する問題	29.4
2	障がい者に対する問題	31.4	障害者に対する問題	29.4	障害者に対する問題	27.8
3	インターネットを悪用した問題	25.3	子どもに対する問題	27.3	子どもに対する問題	26.4
4	高齢者に対する問題	23.8	北朝鮮当局による人権侵害問題	25.4	インターネットを悪用した問題	23.1
5	女性に対する問題	16.9	インターネットを悪用した問題	24.9	北朝鮮当局による人権侵害問題	19.2

【属性別】

性別にみると、女性で「女性に対する問題」(22.1%)が男性より11.8ポイント、「障がい者に対する問題」(36.0%)が男性より10.0ポイント、「子どもに対する問題」(35.1%)が男性より8.0ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、30歳代で「子どもに対する問題」(48.3%)が5割近くで他の年代より高く、20歳代で「障がい者に対する問題」(43.1%)が4割を超え、「女性に対する問題」(29.2%)がほぼ3割で他の年代より高くなっている。また、「女性に対する問題」はおおむね年代が低くなるにつれて占める割合が高くなる傾向にある。

表4-5-2 人権や差別に対する関心—性別、年齢別(複数回答)

		n	子どもに対する問題	障がい者に対する問題	インターネットを悪用した問題	高齢者に対する問題	女性に対する問題	北朝鮮当局による人権侵害問題	犯罪被害者やその家族に対する問題	ホームレスに対する問題	外国人に対する問題	HIV(エイズウイルス)感染者やハンセン病患者などに対する問題	刑を終えて出所した人に対する問題	同和関係者に対する問題	その他	関心がない	無回答
全 体		815	31.7	31.4	25.3	23.8	16.9	14.8	14.2	12.4	11.5	11.3	10.7	5.3	4.9	8.8	11.3
性別	男 性	358	27.1	26.0	27.9	22.3	10.3	18.2	13.7	14.5	11.7	8.4	9.5	5.9	6.7	10.3	11.2
	女 性	447	35.1	36.0	23.5	25.1	22.1	12.3	15.0	10.7	11.2	13.4	11.6	4.9	3.6	7.4	11.4
年 齢 別	20歳未満	12	50.0	41.7	33.3	25.0	50.0	8.3	16.7	-	25.0	-	16.7	8.3	-	16.7	-
	20～29歳	72	41.7	43.1	34.7	25.0	29.2	9.7	18.1	18.1	19.4	18.1	11.1	5.6	2.8	6.9	2.8
	30～39歳	149	48.3	38.9	31.5	20.1	21.5	14.1	15.4	10.1	11.4	13.4	14.8	2.7	2.0	10.7	5.4
	40～49歳	134	39.6	32.1	28.4	21.6	22.4	10.4	17.9	8.2	17.9	11.9	10.4	8.2	6.0	6.0	5.2
	50～59歳	156	26.3	32.1	23.1	20.5	16.0	17.3	13.5	15.4	11.5	12.8	10.3	6.4	5.8	9.6	7.1
	60～69歳	143	19.6	28.7	23.1	28.0	9.8	18.9	13.3	13.3	4.9	9.1	9.8	5.6	9.1	10.5	9.1
	70～79歳	109	22.0	22.0	17.4	28.4	6.4	16.5	8.3	14.7	9.2	6.4	5.5	4.6	3.7	4.6	34.9
80歳以上	33	3.0	6.1	9.1	30.3	6.1	15.2	15.2	6.1	-	3.0	12.1	-	3.0	12.1	36.4	